(I田 <i>)</i>		<u> </u>	似24年及争?	防争耒評価ン	<u>/</u>			<u> </u>	24 年	6月	28 日	作成
事務事業	■サービス部	ことも	-24 育成事業									
No./名 称	口支 援 部	. 門										
主管課	青少年課			関連課								
分野名	青少年育成											
目標 (目標値)	家庭、学校や	 c地域とi	重携する中で↑	青少年の健全を	 な育成を	三図る。						
人口等の	データ区分		23年度	2	22年度			21年度			備す	考
データ	人口		77,204人		177,161人			176,669人		・各年4月1日		
	世帯数		9,217世帯		78,812世帯			78,131世帯	(住民基本台帳)			
	事業の対象者数	20,002人			19,357人			19,791人				
運営資源	決算値(千円)		6,450	'	6,754			6,702				
状 況	(国・県)		288		288		245					
	(負担金等)											
	(一般財源)		6,162	'	6,466			6,457				
	人員配置数		1.7		1.6		1.6					
	人件費(千円)		15,946 指導員連絡協		14,983 首号 声级	⋼╁⋼╪╺╾	丰小	15,649 青少年指導員連絡協議会				
	協働の		·拍导貝建裕版 ·少年協会									
市	パートナー 総事業費(千円)		少年協会 22.396		青少年協会 21.737			青少年協会 22.351				
事務事業 運営経費	市民1人当		22,380	+	21,/3/			22,301				
建 古 社 貝	りの経費(円)		126		123			127				
	対象者1人 当りの経費(円)		1,120		1,123			1,129				
ベンチマーク	団体名⇒											
(県内外自治体												
や民間団体と		Γ			<u> </u>	<u> </u>		Γ!	Γ		'	
の比較値)									<u> </u>		'	
指	標	評価	年度	21年度	22年度		23年度		243	年度	最終年	F度(年度)
子ども会支援数		目標値		60団体	60団体		75団体		75	75団体		75団体
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値		68団体	8団体 71団体		72団体					
評価のポイント												
評価の視点	①効率性	事業費や	人件費に削減余地	也はないか。		②妥当'		事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合 な根拠や公的関与の妥当性はあるか。			「整合して	いるか。法的
計画の税点	③有効性	事業の成界場合影響が		か。事業を休止・	廃止した	④公平	④公平性 受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公1					公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

十事末に日かれるい事末の計画へ	四加于水砂	л <u>х</u> ю х ш .									
小事業名	H23決算値	評価	適切=〇、	. 要改善=△	(評価の視点を参	照)	⇒ 7			B:現状継続 E:廃止•休止	C:改善・見直し
	6,450千円	①効率性	○ ②妥当性	○ ③有効	性 〇 ④公平性	0	⇒	A []B □(D □D	□E
育成事業	事業の概要				のため子ども・若 々な健全育成事						
		①効率性	②妥当性	③有効	性 ④公平性		⇒ [] A[]B □(C □D	□E
	事業の概要										
		①効率性	②妥当性	③有効	性 ④公平性		⇒ [] A[]B □(C □D	□E
	事業の概要										
		①効率性	②妥当性	③有効	性 ④公平性		⇒ [] A[]B □(C □D	□E
	事業の概要										
		①効率性	②妥当性	③有効	性 ④公平性		⇒ [] A[]B □(D □D	□E
	事業の概要										

事務事業の課題及び取組状況

・子ども・若者育成プランの策定を進め、青少年健全育成のための取組を充実する必要がある。 ・鎌倉市子ども会育成連絡協議会が解散し、地域における子どもの育成活動の現状やニーズが把握しにくい。 H23年度の課題 ・鎌倉市子とも会育成連給協議芸が解散し、地域における子ともの育成活動の現状やニースが把握していい。
・成人のつどいの見直しを図る必要がある。
・子ども・若者育成ブランを策定し、ブランの推進体制を整えた。
・成人のつどい実行委員会の開始時期を早め、テーマに沿って実行委員会としての具体的な希望を出すことにした。
・成人のつどいの参加者や市内中学校・高校(4校)の生徒にアンケートを行い、ニーズの把握に努めた。 未解決の課題 ・プランに規定した特に重要な取組を進める必要がある。

中事業の評価と今後の方向性

		適切=○ 要改善=△ (評価の視点 を参照)	①効率性	0	今後の 方向性	A:充実·拡大 B:現状継続C:改善·見直UD:統合縮小 E:例	※□事業完了		
			②妥当性	0		子ども・若者育成プラン推進協議会により、プランの推進状況を確認するとともに、一層の推進に向け、施策の検討を図っていく。	1	課長等名	
			③有効性	0			٨	青少年課長	
		7	④公平性	0				能條 裕子	

(2面) 個別事業の概要 (単位:千円)

(2四/ 四川子	2面) 個別事業の概要 (単位							
小事業名		ザイムスコード	個別事業名	23年度予算	23年度決算値	個別事業の評	F価結果	
		176	青少年指導員報酬	2,025		■適切	 □見直し余地あり	
			青少年問題協議会委員報酬	90		■適切	□見直し余地あり	
			有受性の超過機工を負取師 街頭指導員報酬			■適切	口見直し余地あり	
				288				
	+		成人のつどい実行委員会等謝礼	130		■適切	□見直し余地あり	
	主な		子ども・若者育成プラン策定委員会委員謝礼	136		■適切	□見直し余地あり	
	個別		子ども・若者育成プラン推進協議会委員謝礼	114		■適切	□見直し余地あり	
育成事業	別		育成事業委託	500	500	■適切	□見直し余地あり	
17% - 7%	事業	176	ジュニアリーダーズクラブ研修事業委託料	40	40	■適切	□見直し余地あり	
	*	176	成人のつどい事業委託	1,600	1,600	■適切	□見直し余地あり	
		176	成人のつどい会場使用料	270	267	■適切	□見直し余地あり	
		176	青少年指導員連絡協議会補助金	417	417	■適切	□見直し余地あり	
		176	青少年協会補助金	73	73	■適切	□見直し余地あり	
		176	子ども会補助金	946		■適切	□見直し余地あり	
							_,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
						□適切	□見直し余地あり	
	主な							
	個							
	個別							
	事業							
	未							
						□適切	□見直し余地あり	
	主							
	主なに							
	個別							
	事							
	業							
						□適切	□見直し余地あり	
	+							
	土か							
	個							
	主な個別事業							
	争業							
	*							
						□適切	□見直し余地あり	
	主							
	主な個							
	個							
	別事							
	業							